

東京都市大学 工学部 都市工学科 計画マネジメント・今井研究室

今井龍一 准教授



東京都市大学 今井龍一 准教授

専門分野

- ・土木情報学
- ・都市交通

キーワード

社会基盤情報、地理空間情報、動線解析、
デジタル道路地図、プロダクトモデル、
モデリング、データマイニング、計測技術
CIM・i-Construction、

■研究紹介／活動プロジェクト

私・今井龍一は、建設コンサルタントの日本工営㈱の「産」、国土交通省国土技術政策総合研究所の「官」の勤務を経て、2015年4月に本「学」に着任しました。

安心・安全で快適な生活を送るために、国土空間をどのように計測して管理すればよいか？ヒトやクルマなどの都市活動（交通実態）をどのように分析・見える化すればよいか？これら資産を継続的に活用した都市経営をどのように推進すればよいか？本研究室では、共通認識をもって国土空間や都市活動の現状を知る、潜在する事象を発見する、将来を予測する、諸課題への対策を講ずるための技術やマネジメント手法として、次の2本柱を設定して研究しています。

◆国土空間の計測・管理手法の研究

トータルステーション、LP (Laser Profiler)、移動体計測車両 (MMS : Mobile Mapping System) や UAV (Unmanned Aerial Vehicle) などの様々な機器で計測された写真や点群データを用いた国土空間モデルの生成・活用手法を研究しています。

◆都市活動の分析・見える化の研究

携帯電話やカーナビゲーションシステムなどの媒体から24時間365日取得されるヒトやクルマなどの膨大な移動履歴のデータと、統計調査の各種資料とを組合

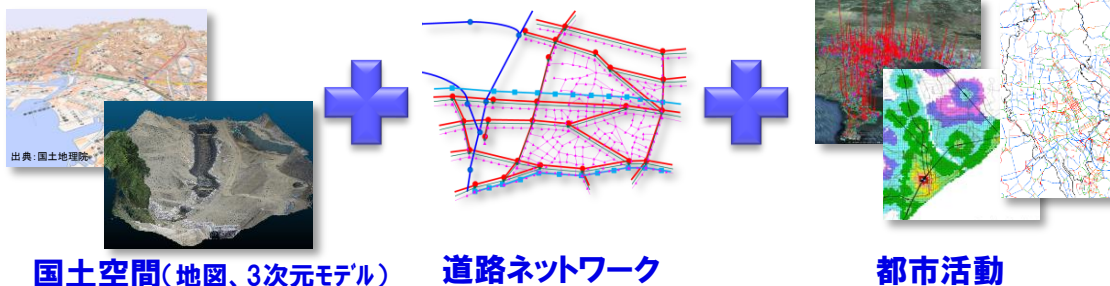
せて、都市活動の現状把握、潜在事象の発見や将来予測に係わる分析・見える化手法、分析・見える化に応じた道路ネットワークや地図基盤を研究しています。

2016年7月、東京都市大学は未来都市研究機構を設置し、「都市研究の都市大」プロジェクトに着手しています。東京圏を対象にエイジングシティ問題、すなわち、人だけでなく都市のハードとソフトの高齢化に起因する諸課題に関する全学的な学際研究の推進です。持続可能で魅力的な成熟都市の形成を目指して、国際競争力の維持・発展のみならず居住者の生活の質の向上に寄与するための技術と制度を総合的に開発する一連の研究を実施しています。その中で、私はシニアライフマーケティングを担当しており、高齢者の回遊行動や将来の居住分布を把握して、都市経営の施策立案等を支援する都市活動のモニタリングシステムの開発に取り組んでいます。

当該分野における有用な研究成果を挙げる、さらに社会実装に繋げるには、産官学の皆様との交流を深化し、餅は餅屋の体制を構築して推進することが肝要であると認識しております。今後も交流の機会に恵まれるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

TEL: 03-5707-0104

E-mail: imair@tcu.ac.jp



国土空間および都市活動の計測・分析・見える化の構成イメージ